

研究構想シート		学校名	美郷町立大和中学校
		氏名	楯 裕子
A 研究主題 生徒のより深い学びを支える特色ある学習支援の在り方 ～基礎・基本の定着と、対話的な学びの場の創造を通して～			
B 研究の目的 生徒のより深い学びを支える特色ある学習支援の在り方を明らかにし、めざす子ども姿を育成する。			
C 子どもの実態 〔強み〕 ・落ちついている。 ・真面目な子が多く、言われたことをやろうと頑張る。 ・男女仲が良く、互いに協力できる。 ・明るくて元気がいい。 ・前向きに考えられる。 〔弱み〕 ・もの静かで、分からないことを先生に質問することが少なく、自発性、積極性は乏しい面もある。 ・けじめのない時がある。 ・自分の考えを発表するのに苦手意識がある。 ・学習への取り組みが甘い。 ・衝動的で深く考えない生徒もいる。	E 手立て・内容（研究仮説） ○「より深い学び」とは 生徒が自分の基礎基本の学力を活用して、教職員や仲間との対話を通して自分の考えを深めたり、広げたりして、新たな学習に生かすことができるような学び。 ○「対話的な学びの場」とは ・教職員が生徒自身の学びに向かう力を引き出し、仲間同士の支え合い・学び合いなど人間的ふれあいが感じられる授業空間。（「失敗しても大丈夫」という温かい授業空間） ・以下の2つの視点でその「学びの場」を創っていく。 ◇基礎・基本を活用したより深い学びのある授業づくり ◇人とつながり、豊かな人間性を育むための環境づくり	D めざす子どもの姿 ・向上心を持ち、良い行動は真似して、前向きに努力できる。 ・人の伝わるような大きく、はっきりした声で、相手とコミュニケーションがとれるようになる。 ・あたりまえのことが、あたりまえにできる生徒。 （あいさつや整理整頓 など） （将来のことを考えて） ・見通しをもって、学習の取り組む生徒。 ・自分の考えを工夫してまとめようとする。 ・積極的に課題に取り組もうとする。 ・対話を通して自分の考えを深めたり、広げたりして、新たな学習に生かすことができる。	
	F 検証方法 ・学力調査などによる評価や分析を、全教職員を行う。 ・アンケートなどによる意識調査を行う。 ・生徒の発言や記述などの評価や分析をする。 ・校内研究授業の結果を参考に検証する。		
	G 研究計画 ・校内研究授業 1人1回授業公開を行う。 ・研究授業 研究協議を行う。 ・訪問指導 ・研究委員会 ・研究の成果、課題、来年度に向けての方向性について話し合い		